

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「かたよらない心 こだわらない心 とらわれない心」を法人理念とし法人の福祉サービス方針、ホームの福祉サービス目標の中でも、地域社会の一員としての生活を支援していくことを掲げている。入居後も、地域の中へ積極的に出かけ、出来る限りこれまでのその人らしい生活を支える支援に取り組んでいる。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	法人理念は毎日朝礼で唱和し、年度のサービス目標、取り組みをホームの玄関、事務室内に掲示し、常に確認し共有できるようにしている。毎月、目標実現に向け、月間目標を立て、進捗状況を確認している。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	家族には、入居時の説明、日々の生活の様子、支援の内容について報告、連絡、相談を行い理解して頂けるように取り組んでいる。地域に向けては、法人の広報誌やホームページにて広報している。また、運営推進会議においても、取り組みの実際を報告し、啓発に取り組んでいる。	○ 開設後より、地域へ入居者、職員が常に出かけていくことを継続してきたことが、家族や地域の方にえるむの支援や取り組みを理解して頂けることに繋がってきていると思われる。今後も実施している内容を継続、発展していけるように取り組んでいく。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	立地上、近隣の方が気軽に立ち寄って頂くということは難しい面があるが、入居者と散歩に出掛けたり、毎日の買い物や外出をした時は、近隣の方から声をかけて頂いたり、近所でお花見をしていると、赤ちゃんを連れて出て来て下さったり、犬の散歩の途中に引き返して話に来て下さったりしている。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	福知山市の区分けで自治会は併設ホーム単自治会となっており他の自治会には所属していない為参加はできない。しかし参加可能な市内の地域行事には積極的に出かけていたり、近隣の保育園からの訪問、小学校の授業参観に行く等している。又地元の高校生の実習を受け入れ、高校の文化祭への招待を受ける等もしている。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。今年度は近隣の保育園との交流を更に進める計画をしている。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議において、地域の方より在宅の高齢者の暮らしの実態、施設に求める事等様々な意見を聞き、話合うようにしている。又、京都府広域振興局中丹西保健所主催の認知症ケアについての研修会において、えるむの取り組みを発表し、参加者から見学や相談の問い合わせがあり随時対応している。入居者が参加しているサークルにおいても在宅介護についての相談等に応じている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の必要性については職員間で話をし理解出来るようにしている。評価結果を職員間で共有し、アドバイス事項は活かし、又評価を受けたことは更に発展していけるように取り組んでいる。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施し、福祉サービス目標の進捗状況(取り組み内容、行事、事故、外出、研修等)、現況を報告し、意見交換をしている。外部評価結果等も報告している。会議内で、入居者の冬場の手仕事に昔なじみの小豆の選別ができたという話をした所、入居者家族が小豆を作って下さり、選別作業をさせて頂いたということもあった。	○	運営推進会議への参加者の幅や人数を拡大していったり、内容のさらなる充実も必要である。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の地域密着型サービス事業所懇談会が昨年より発足し、3ヶ月に1回程、市内の事業所が集まり情報交換や、事業所の紹介等をし連携を密に取れるよう取り組んでいる。市が主催する行事(福祉まつり、生涯学習フェスティバル等)には、毎年積極的に参加している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部の研修において学ぶ機会を得ている。そこでの資料を事務室内の研修資料をまとめたファイルに綴り閲覧できるようにしている。現在対象となる方がおられず、話し合いや支援の経験はないが、支援の必要があれば支援はしていく。又、法人の委員会主催の新入職員研修においては権利擁護に関しても行い、新入職員への教育を行っている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内や部所の研修を通し、人権や虐待について学ぶ機会をもち、防止の徹底に努めている。内出血等も原因を究明したり、入居者の言動等、小さな情報も職員間で共有したり、言葉使い(言い回しや言動等も含め)の見直しを職員間で取り組む等、常に虐待や人権侵害がないか、黙認や見過ごす事がない様日頃より注意を払っている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書の説明はもちろん、入居者、家族等の入居への思い、不安、希望等、十分に話を聞き対応するようにしている。入居後も、利用料金等への詳細の問い合わせ等にも適切に対応している。退居時も入居時と同じく、十分に話し合いをもち、不安なく次の生活に移れることができるように努めている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員へ直接意見を言って頂けるような関係作り、介護相談員の受け入れ、外部機関の説明等行っている。そこで上がって意見は、報告書にまとめ、職員間で共有し改善に向け取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>これまで不定期で行っていた個別のお便りを、今年度は2ヶ月に1回送ることにし取り組んでいる。又面会時にはこまめに様子を報告したり、写真を見て頂くなどし、暮らしぶりを伝えるようにしている。必要に応じ、電話にて報告や相談を行うようにしている。金銭については、毎月請求書と共に詳細を送付している。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員へ直接意見を言って頂けるような関係作り、1回/年の満足度調査アンケート、外部機関の説明等行っている。アンケートで上がった意見や直接の苦情や希望要望等は報告書にまとめ職員間で共有し、改善に向け取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員体制や入居者の選考、入居継続の可否については、部長が現場職員の意見を聞く機会をもち、それをふまえて会議等の場での検討が行われている。ケアについての取り組み等もその都度意見を聞く機会をもつようにしている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>希望等に応じ、出勤体制や時間をその都度調整し、柔軟に対応できるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動、離職を最小限に抑えるよう常に努力、配慮している。入退職や異動があっても、入居者への影響は最小限に抑える為に、入居者との関係作り、支援について等、職員教育は徹底して行っている。また、職員のストレスがたまらないよう、法人の互助会において、様々なレクリエーションや旅行等も実施している。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>

グループホームえるむ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新入職員研修、OJT、法人の人材育成委員会主催の5回/年の全体研修、部所内における研修、法人内での研修発表、外部研修への可能な限りの派遣を行い人材育成に力を入れている。又外部研修の資料については事務室内のファイルに綴り閲覧できるようにしたり、部所内の研修においてテーマに上げ伝達をている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>府内のグループホームで組織する連絡会主催の勉強会や交換研修に職員を派遣している。他のホームからの研修、見学も受け入れ、他のホームで行われている支援等に触れる機会を持てるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日頃から職員間のコミュニケーションはを大切にし、悩みやストレスの聴取をしている。上記の連絡会において、外部のスタッフと交流をしたり、法人内の親睦会において、慰労会やレクリエーション、親睦旅行等も行っている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>法人内の各種研修の実施、自主的な研修参加のシステムもあり、又外部研修への派遣等を行い、各自の学ぶ機会を提供し、向上心をもって働けるよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居事前調査、面接、契約時等から、本人のニーズ、不安等を聴き取れるよう、関係を築くことに努めている。入居当初も大きな不安や悩みを聴き、特にケース担当を中心として信頼関係を築けるよう努力している。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居事前調査、面接、契約時等から、家族の不安、利用に至るまでの経過、希望等を聴き取れるよう関係を築くことに努めている。場合によっては、入居までも家族の不安や相談に乗り、こまめに電話やファックス等でも連絡を取り合うなど、家族の心身状況等への配慮も心掛けている。</p>	<p>○</p> <p>実施している内容を継続し取り組んでいく。</p>

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームへの入居だけに拘らず、現在の生活、今必要としていること、本人、家族の思いに適したサービス等を含め、可能性を広げられるよう、随時、傾聴、助言をするように努めている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の状態に応じ、見学も一度だけでなく、何度か来て頂き雰囲気を感じて頂けるよう、家族と相談をしながら対応している。本人に対しても、サービスに対しての不安等、見て頂きながら質問に応じたり、職員が接し安心、納得して頂けるよう努めている。又、その姿を家族がみることで、家族にも安心、納得して頂けるよう配慮している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護を受け、ホームで穏やかにのんびりと過ごして頂くというのではなく、他の入居者や職員と喜怒哀楽いっぱい力を発揮し、支え合える暮らしを目指している。保存食作りや家庭菜園など馴染みのある作業を通し職員が教わる機会も多く持っている。そういったことについて日頃から職員間で話をするようにしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに心を傾けながら、家族と共に支えることができるよう、常に情報を共有できるよう努めている。ホームの広報誌等を通じ、生き生きとした暮らしの様子を伝え、感じて頂くことで、家族も一緒に支援をしていって頂けるように努めている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前後の聴き取り等から、関係への理解を行うように努めている。思い合っているけれど、様々な事情からこじれてしまっている関係があり、職員が介入することで良い関係に戻れる可能性がある場合などは状況に応じ、介入しながら支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が大切にしている人、もの、場所等の把握に努め、可能な限りその人らしく暮らし続けられるよう支援に努めている。馴染みの習慣の継続、自宅への外泊の支援等。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日の暮らしの中で、職員との関係だけでなく、入居者同士の関係を理解し、共同生活を支援できるように努めている。入居者に声を掛けてもらう、一緒に何か作業をして頂く等。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホームでの生活が困難となった入居者が契約終了となっても、幸いに同一敷地内に特養があり、家族の希望で特養入居となっても、訪問しあったり、行事などではえるむも方と一緒に過ごして頂くなど、良い関係が作れている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の活用を目指しながら、一人ひとりの思いに寄り添い、困難な場合でもその方にとってどうか、どうされたいと思われるだろうかと考え、入居者本意に対応できるよう検討している。日頃からの思いの傾聴に努めている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。センター方式の活用に取り組んでいる。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居事前面接等だけでなく、入居後も本人、家族から聴き取り、又日々の中での把握、情報の共有に努めている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。センター方式の活用に取り組んでいる。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	事前情報だけでなく、日々の中で理解し、見極めるように努めている。日々の様子などは記録にも残していくようにしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。センター方式の活用に取り組んでいる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族からの意見を聞き、ケース担当、ケアマネジャー、職員の意見等をふまえ、検討し介護計画を作成している。会議への本人、家族の参加調整には課題がある。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。センター方式の活用に取り組んでいる。本人、家族の担当者会議への参加調整。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しだけでなく、日々の生活の中で発生したニーズや課題には適時検討の場を作り対応している。介護計画作成時と同様、会議への本人、家族の参加調整には課題がある。モニタリング、評価等は実施できている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。センター方式の活用に取り組んでいる。本人、家族の担当者会議への参加調整。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録、介護計画のモニタリングを個別の生活支援記録に記入し、情報を共有し日々のケアにいかせるようにしている。家族とのやりとりについては、相談記録に記入し残していつている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況、要望に応じ柔軟に対応するように努めている。面会時間、外出、外泊等の支援、受診の対応、馴染みの理美容の付き添い、入居時から続けているサークル<4年目>への参加等。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	意向や必要性に応じ、地域資源の活用をしている。入居者の趣味の支援として、地域のサークルを無理なく活用できるよう、協力して頂きながら支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	これまでそういった事例がない為評価困難ではあるが、必要に応じて支援ができるよう取り組みたいと考える。	○	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	これまでそういった事例がない為評価困難ではあるが、必要に応じて支援ができるよう取り組みたいと考える。	○	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、又必要時本人及び家族の希望医療機関を利用できるよう支援している。希望であれば併設特養に診療所があり、法人専属の医師が土日以外往診されており診察をして頂けるようになっていた。他院を受診されている方でも、必要であればホームから連絡をしDrに相談や指示を仰げるように連携が取れている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者と職員の間をしっかりと築き、一人ひとりに応じた丁寧な対応や言葉掛けを心掛けている。記録類の取り扱いには注意を払っている。言葉掛け、態度等不適切なものがあれば、職員間で注意し合える雰囲気が出ている。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	分かる力を把握し、個々に応じて声掛けや希望の聴き取りを日頃から行っている。場面に応じ自己決定、納得ができるよう支援し、自分らしく暮らせるよう努めている。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務、職員都合優先ではなく、入居者のその日、その時の思いを大切にしながら暮らしを支援している。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日の身だしなみ、外出、行事等の際のおしゃれは、その日とらしさ、清潔感を大切に支援している。又、理美容は本人、家族の希望を聴き取り、希望の店を利用できるように対応している。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	併設施設の管理栄養師が作成した献立を基にしながら、好みや季節に合った食材に配慮し柔軟に対応している。調理等食事の準備、片付けを共に行っている。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	疾病等には細心の注意を払いつつ、お酒、おやつ等嗜好に応じ楽しめるよう支援している。嗜好品を買いにいけるよう買物の支援、必要に応じ管理を行っている。	○ 実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別の排泄パターン、使用しやすいトイレ、適した排泄用品、介助の仕方等情報を共有、検討し、個別に応じた支援をしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望やタイミング等は可能な限り一人ひとりに応じて対応できるよう努めているが、体制上入浴の時間は限られてしまっている。介助は同性介助を基本とし体応している。一人ひとりゆったりと入浴を楽しんで頂けるよう、個別の状態に応じた介助、好みの湯温、入浴剤の使用等行っている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。時間帯の柔軟な対応が可能になるよう努めていく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	午睡や就寝時間、就寝前の習慣等、一人ひとりの生活や状況に応じ支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力を活かし、生活に根ざした役割を持って頂けるような支援(家事作業、園芸、菜園等)、趣味を楽しめる環境作り、外出等の支援を行なっている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時、希望や力に応じて持っていただけるよう支援することを説明し、本人、家族と相談しお金を管理されるかどうか確認している。持たれない場合も、個別の買物は本人に可能な限り行って頂き、支払いをしていけるよう支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節を感じ、気分転換を図ることができるよう、散歩、毎日の買物、季節に応じた外出(花見、ホテル狩り、月見、イルミネーションドライブ、初詣等)等、希望やその日の天候時に応じ支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段のコミュニケーションの中から、個別の希望は聴き取れるようにしており、行ってみたい場所、好まれるであろう場所等に出かけて頂けるよう支援している。誕生日には特にその方の希望の実現に取り組んでいる。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて、電話や手紙を利用して頂いたり、働きかける等支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪時の受け入れ(挨拶、お茶を入居者に出して頂く、居室やリビング等好きな場所で一緒に過ごして頂けるような支援)、声掛け等配慮、工夫をしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等を通じ、身体拘束について理解し、拘束を行わないケアに取り組んでいる。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は各所の施錠は行っておらず、入居者が行きたい所へいつでも、どこからでも自由に出入りし過ごせるようにしている。気付いた時に外の草引きをされたり、花の水やりに行ったりされている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら、常に入居者の所在確認、把握に努め、安全確保に配慮している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や洗剤等、生活の中で当たり前にあるものを無くすのではなく、入居者の状態に応じて使用して頂いたり、見守りを行っている。異食等の危険がある場合は、使用時のみ提供するようになっている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故の危険性、防止策等学び、万が一事故が起こった場合の対応、報告等についても確認しあっている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。介護過誤事故ゼロを目指し取り組んでいる。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急法の研修等を行い、またホーム内で実際に起こった事故、急変時の対応を事例に職員に話をするようにしている。定期的な訓練については今後の課題である。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行い、災害時に対応出来るよう取り組んでいる。又、水、食料等の非常食をホーム内に備蓄している。地域の協力を得られるような働きかけについては今後の課題である。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに応じた、考えうるリスクについて把握して頂き、支援策を理解して頂けるよう、日頃から話をしていくようにしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に入居者の様子観察には注意し、早期発見、対応に努めている。気付いた際には、すぐに看護職員、職員、部長に報告し対応している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	疾病、処方薬、注意点について理解し、入居者の力に応じ服薬を支援している。随時処方薬については特に服薬中の変化に注意し、必要に応じ医師に相談している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の原因、影響について理解し、水分・食事摂取、運動等を支援している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。下剤を服用している方も居られるが、必要性、量等の調整も常に行っている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎日の義歯洗浄剤の使用、食後の歯磨き等、入居者個々の状態や力に応じ支援をしている。口腔衛生についての研修を受けるなど知識の習得、資料の共有などしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養師が作成した献立を基にし、量、栄養のバランスを確保している。一人ひとりの摂取状態、好みに応じ介助等行っている。補食としてのおやつ等、個別に対応している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人の感染/褥瘡対策委員会が作成した、対策マニュアルがあり、法人内のNet.、事務室内のファイルに保管し常に確認ができるようにしている。又、毎年部所内の研修において感染症について学ぶ機会を作っている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンの衛生管理、新鮮な食材の購入、食材管理等行っている。グループホームにおける、家庭的でありながらも、常に食中毒に対しての注意、責任があることを職員にも伝えている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	立地上、近隣の方が気軽に立ち寄って頂くということは難しい面があるが、入居者、家族、来訪者が入り易いよう、玄関周りで花を育てたり、季節感のあるもの(野菜や干し柿を吊るす)を置いたり、玄関に入居者がされた生花やフラワーアレンジメントの作品を飾る等工夫している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔感を大切にし、安心して快適に過ごしたり、使用できるようにしている。季節の花を飾ったり、その人に理解して頂きやすいような表示をする、入居者や家族が作られたものを飾る等工夫している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の状態、関係等配慮しながら、常に室内の見直しを行いながら、入居者が居心地よく居られるよう配慮している。共用空間の中にいくつか居場所を作り、1カ所に集まらなくても過ごせるようにしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

グループホームえるむ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族と相談しながら居室の環境を作っている。使い慣れた馴染みの物、本人の作品、家族の写真等、工夫している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度、湿度調節、換気等、入居者にとってどうかを常に注意し対応している。排泄後の臭い等、室内の構造上換気だけではすぐにとれない場合は、消臭剤を適時使用するようになっている。逆に、生活や季節を感じるような匂い(花、食材等)は入居者に楽しんで頂けるようにしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要に応じ、手すりを設置したり、ゆったりと安全に暮せるスペースの確保をしている。可能な限り自立した生活が送れるよう、場所の表示、使い易い配置等工夫、配慮をしている。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの力を把握し、発揮できるよう支援している。場所の表示、配置等工夫している。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	草引きや園芸、布団を干したり、外気浴など外でゆっくと過ごせるようにベンチを設置したり、畑を増設しながら、菜園に取り組んでいる。	○	実施している内容を継続し取り組んでいく。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームえるむ

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・京都府北部で初めて認可を受け開設したグループホームとして、手探りの中で、入居者の感情豊かな、いきいきとした暮らしの支援を目指し取り組んできました。「出来ることは可能な限り自分で、出来難いことは協力して、出来ないことは代行して」を基本に、入居者の個々の力、協力し合う力、必要な支援の見極めを職員間でしっかりと行うように努めています。
- ・毎日の買物、散歩、季節に応じた外出等ほぼ毎日外出をし、ホームの中だけでの生活ではなく、地域に出かけ、ともに季節を感じ、気持ちを共有できるように取り組んでいます。毎年日帰り旅行を入居者とともに企画し、思い出に残る旅行や、個別の思いを実現するための外出等の機会を多くもつようになっています。
- ・生活に根ざした楽しみ、昔馴染みの仕事を多く持てるよう、季節感のある保存食作り(山菜の乾物、漬物、果実酒、ジャム、干し柿)、菜園作り、季節の菓子を作る等に力を入れています。
- ・2005年に法人としてISO9001:2000の取得に取り組み、えるむも取得することができ、サービスの品質管理を徹底しています。今年度は、2008版への規格移行に従い、更に業務の見直し、職員への更なる浸透に取り組んでいます。
- ・法人の人材育成委員会を中心に、法人全体研修、部所別研修等、自己研鑽の機会を多く持ち、人材育成、サービス向上に努めています。